

# (仮称) 北竜町総合学習複合交流センター設立準備委員会

## 第2回 会議次第

日時: 令和7年12月19日(金)15:00～  
場所: 北竜町公民館 大ホール

- 1 開会
- 2 議題
  - ① 第1回会議の振り返り
  - ② これまでの経過とコンセプト（案）について
  - ③ プランの変更について
  - ④ 視察の報告について
  - ⑤ 今後のスケジュールについて
  - ⑥ その他
- 3 事務局からの連絡
- 4 閉会

## ① これまでの経過とコンセプト（案）について

### 文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」R4.3

新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）

**Schools for the Future** 「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

「未来思考」の視点

- ① 学校は、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる。
- ② 教室環境について、単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）をもつ。
- ③ 紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）をもつ。
- ④ どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する。

#### 北竜町学校教育基本方針 R7.3

教育環境とまちづくりの連携によって、子育て世代にとって魅力的なまちとなり、移住定住の促進、さらに地域の発展へとつなげるため、今後の学校教育をはじめとした教育環境づくりの指針として策定。



#### 北竜町学校等複合施設基本計画 R7.3

北竜町学校施設長寿命化計画、北竜町公共施設再配置計画に基づき、学校等施設の機能や諸室配置など学校等複合施設の整備に向けた具体的方針を定める計画として策定



#### 北竜町立義務教育学校基本構想 R7.9

上記の各種方針・計画を踏まえて、義務教育学校の整備の方向性、整備方針を策定。



#### 北竜町ロゴデザイン ・コンセプト



次は、  
何を  
咲かそう。  
HOKURYU

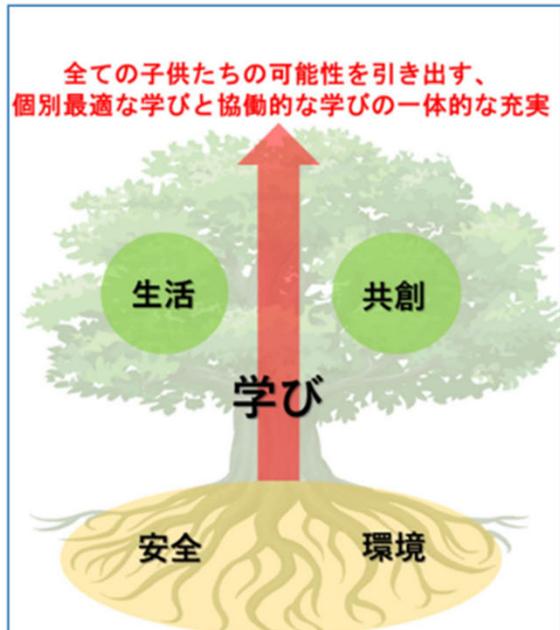
### プランのコンセプト・基本的な考え方

「コンセプト・基本的な考え方」：（仮称）北竜町総合学習複合交流センター・義務教育学校づくりを進めていく上で、拠り所となるブレない軸・羅針盤であり、10年後、20年後を見据えながら、何のために、どのような学校・交流施設を作るかという「目指す方向性」

## ① これまでの経過とコンセプト（案）について

参考：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

## 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『学び』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『生活』『共創』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『安全』『環境』の確保を実現する。

## 【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現

- ⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）

1人1台端末環境等に対応したゆとり  
のある教室の整備多目的スペースの活用による多様な  
学習活動への柔軟な対応ロッカースペース等の配置の工夫等  
による教室空間の有効活用

生活

新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現

- ⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

共創

地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現

- ⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

## 【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全

子どもたちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現

- ⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

環境

脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

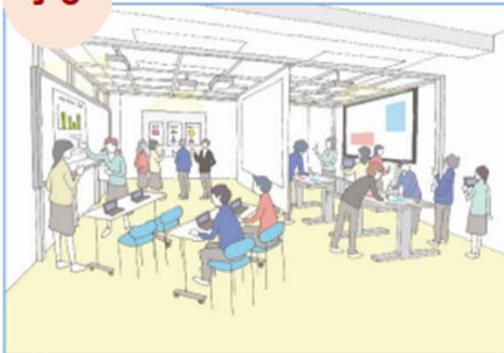
- ⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

## ① これまでの経過とコンセプト（案）について

参考：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

### 新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

学び



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせ、読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

学び



教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

学び



映像編集やオンライン会議のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿

生活



木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

共創



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

安全



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿

環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

# ① これまでの経過とコンセプト（案）について

## 参考：北竜町学校教育基本方針 R7.3

### 2. 学校教育の基本理念

#### 学校教育の基本理念

子どもたちがそれぞれの夢や目標の実現に向けて、生きる力を育み、個性と多様性を尊重しながら、未来に向かって羽ばたくことができるように、学校教育環境の充実に努め、地域とともにある学校づくりを推進する

#### めざす子ども像

##### ①心豊かな子ども

- 個性・多様性を認め合い、支え合う子
- 意欲的に学び、よく考える子
- 自分・他者・地域を愛する子

##### ②たくましく生きる子ども

- 時代の変化を生き抜く力を持つ子
- 良く働き、その大切さを知る子
- 仲間と共に鍛え合う子

##### ③夢を大切にチャレンジする子ども

- 主体的に行動し挑戦する子
- 目標を持ち最後までやり抜く子
- 失敗を恐れず、経験から学ぶ子

### 3. 学校教育の重点方針・具体的な施策

#### 重点方針

①子どもたちが新しい時代を生き抜くために必要な資質や能力を育む特色ある教育の推進

②地域みんなで子どもの多様性を受け入れ、子どもの社会性を育む

③「ひまわりのまち北竜」への愛着と社会に貢献する力を育む

④子どもたちが安心して通える環境と教職員が働きやすい環境の整備

#### 具体的な施策

- ① 小中一貫教育の推進
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の醸成
- ④ 健康な体の育成

- ① 地域の交流拠点・子どもの居場所づくり
- ② コミュニティ・スクールの推進
- ③ 特別支援教育の充実
- ④ 生涯学習の充実

- ① 学校と社会教育連携の推進
- ② 郷土学の推進
- ③ キャリア教育の推進

- ① GIGAスクール構想の実現に向けたICT環境の充実・人材の確保
- ② 教職員の働き方改革の推進
- ③ 通学等の移動手段の確保

### 4. 小中一貫教育の推進に係る基本方針

- (1) 義務教育学校の採用
- (2) 教育課程上の区分の見直し
- (3) 専科教育の推進
- (4) 複数学年での合同授業や活動の実施
- (5) 学校や地域の特性を生かした学習内容の検討

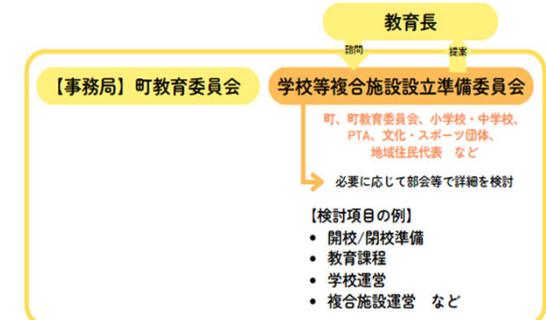
### 5. 推進体制と運営体制

今後、小中一貫教育をはじめ、新しい学校づくりを進めていくにあたって、学校と教育委員会、学校と地域住民、学校と家庭の役割分担と連携が重要となります。

学校教育中心の行政になりがちであった教育委員会についても、学校のみならず、家庭や地域社会における教育に関する条件の整備・充実や、これら相互の連携を推進することが大きな役割となります。

地域に開かれた学校づくりを進め、下記に示すような学校、教育委員会、地域住民、家庭が連携できる推進・運営体制を整えます。

地域への情報提供や意見把握、交流の機会づくりなどにも積極的に取り組み、地域みんなで子どもを育てる北竜町の教育環境をつくりまします。



## ① これまでの経過とコンセプト（案）について

### 参考：北竜町学校等複合施設基本計画 R7.3

## 3. 目指すべき施設のあり方・基本方針

「北竜町公共施設再配置計画」で示す方針等を踏まえて、目指すべき施設のあり方・基本方針を次の通りとします。

### ① 多目的複合交流施設の整備による学校を核とした「地域づくりの拠点」

- ・学校と公民館、改善センターを複合化し、子どもから高齢者まで、気軽に集まれる場所、来やすい場所となる身近で日常的に活用可能な施設とします。
- ・「学校教育の場」と「社会教育の場」を複合化し、児童・生徒と地域住民との交流できる機会を創出することで、子どもたちへの多様な学習機会の創出、地域交流の活発化やコミュニティの強化を促進し、学校を核とした地域づくりの拠点の形成を目指します。
- ・町の財政にとっても、各諸室の相互利用によって効果的・効率的な施設整備とし、面積・事業費を削減します。

### ② 学習環境の高機能化・多機能化した北竜町独自の学校教育を推進する「学びの場」

- ・地域全体で子どもたちの学びや成長を支える基盤とするとともに、学校と社会教育事業等の連携による北竜町独自の学校教育を推進する「学びの場」として整備します。
- ・デジタル技術の導入を推進し、時代に合わせた学習環境の高機能化を図ります。
- ・地域住民との連携強化を図り、学校外の教育機会の創出や学習支援の拡充を行います。
- ・専門性のある人材や地域住民との連携によって学校運営の支援につなげます。

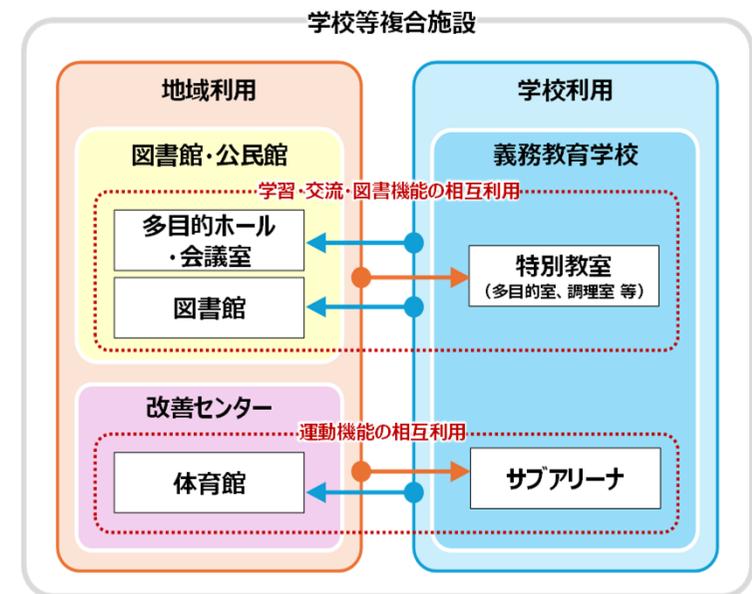
### ③ 生涯学習やコミュニティの拠点となる「まちの居場所」

- ・子ども達が安心して遊べる環境や放課後に立ち寄りたくなる場、サークル・団体等での活動や生涯学習等の活動の場の整備を通して地域のコミュニティの拠点となり、本施設が子ども達をはじめ、町民にとって家庭や学校以外の居場所＝サードプレイスとなることを目指します。
- ・施設から離れた場所に住む人も利用しやすいよう、バス等の待合場所の確保や、地域公共交通と連携したアクセス手段について検討します。

## 5. 配置計画

### 複合化の考え方

本施設を構成する義務教育学校及び図書館・公民館の機能の複合化にあたっては、図書館・公民館で整備する多目的ホール・会議室、図書館と、義務教育学校で整備する特別教室（多目的室・調理室等）の相互利用と、改善センターの体育館と義務教育学校のサブアリーナの相互利用を図り、地域交流の活発化やコミュニティの強化、効率的な施設整備の実現を目指します。



## ① これまでの経過とコンセプト（案）について

参考：北竜町立義務教育学校基本構想 R7.9

### 義務教育学校施設の整備方針

#### 1.子どもたちの学習環境について

- (1)主体的で意欲的な活動を支援し、学び合いを引き出す施設
- (2)知的探究型の授業、対話的な学びなど、多様な学習形態を可能とする施設

#### 2.子どもたちの生活環境について

- (1)児童生徒一人ひとりを尊重し、明るく清潔で、やすらぎのある施設
- (2)児童生徒の居場所があり、安心して健やかに成長できる施設
- (3)異年齢が交流し、社会性を育む施設

#### 3.職員の労働環境について

- (1)教員の創意工夫も引き出せる、働きやすく管理がしやすい施設

#### 4.学校施設の地域貢献について

- (1)自然災害にも屈しない、誰もが使いやすい安全でユニバーサルな施設
- (2)周辺環境等への配慮と、将来を見据えた、柔軟でバランスの取れた施設

#### 5.地域と共に成長する仕組みについて

- (1)地域に開かれ、地域の核となり、地域の人材も輝くことのできる施設

#### 6.町民が誇りを感じられる学校づくりについて

- (1)自然や伝統など多様な価値観に触れながら、自尊心と郷土愛を育む施設

## ① これまでの経過とコンセプト（案）について

**（仮称）北竜町総合学習複合交流センター・義務教育学校づくりのコンセプト（案）**

# 未来を咲かそう みんなの学び舎

北竜町の四季がさまざまな“色”を見せるように、子どもたちもそれぞれ豊かな個性をもっています。

ひまわりが太陽の光を受けて力強く育つように、その個性が輝き、新しい学びが広がる“みんなの学び舎”をめざします。

仲間との対話・学び、多世代との交流、地域の自然や文化に触れる体験が日常となり、子どもたちの知的好奇心や挑戦する力を育みます。

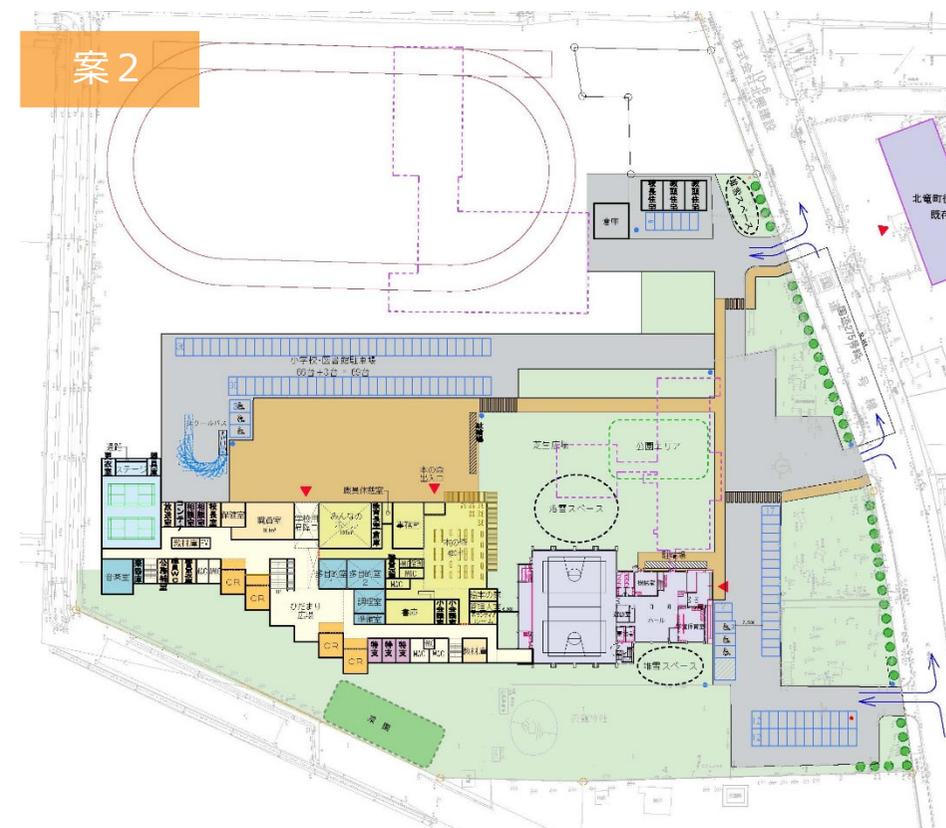
子どもも大人も互いに支え合いながら、9年間の学びを積み重ね、未来へ踏み出す力を育てます。そして、地域みんなでその成長を支え、まちの未来をともに咲かせていく——それが「未来を咲かそう みんなの学び舎」です。

## ② プランの変更について

案1：11月10日時点での検討案  
案2：12月9日時点での検討案

### ■ 配置図（案）

- ・施設整備費を削減するために、義務教育学校及び図書室の施設の床面積を削減（基本計画：8,787㎡→現在：案1が6,107㎡、案2が6,029㎡）。
- ・以下に示す2案をベースに、検討を進めています。



#### ～ 案1の特徴 ～

- ・義務教育学校の機能がまとまっており、教員・児童ともに移動しやすい。
- ・義務教育学校内に、子ども同士の交流スペースを複数（広場2か所及びだべるスペース）を設置できる。
- ・本の森を窓側に面しておらず、公園エリアとの連続性が薄い

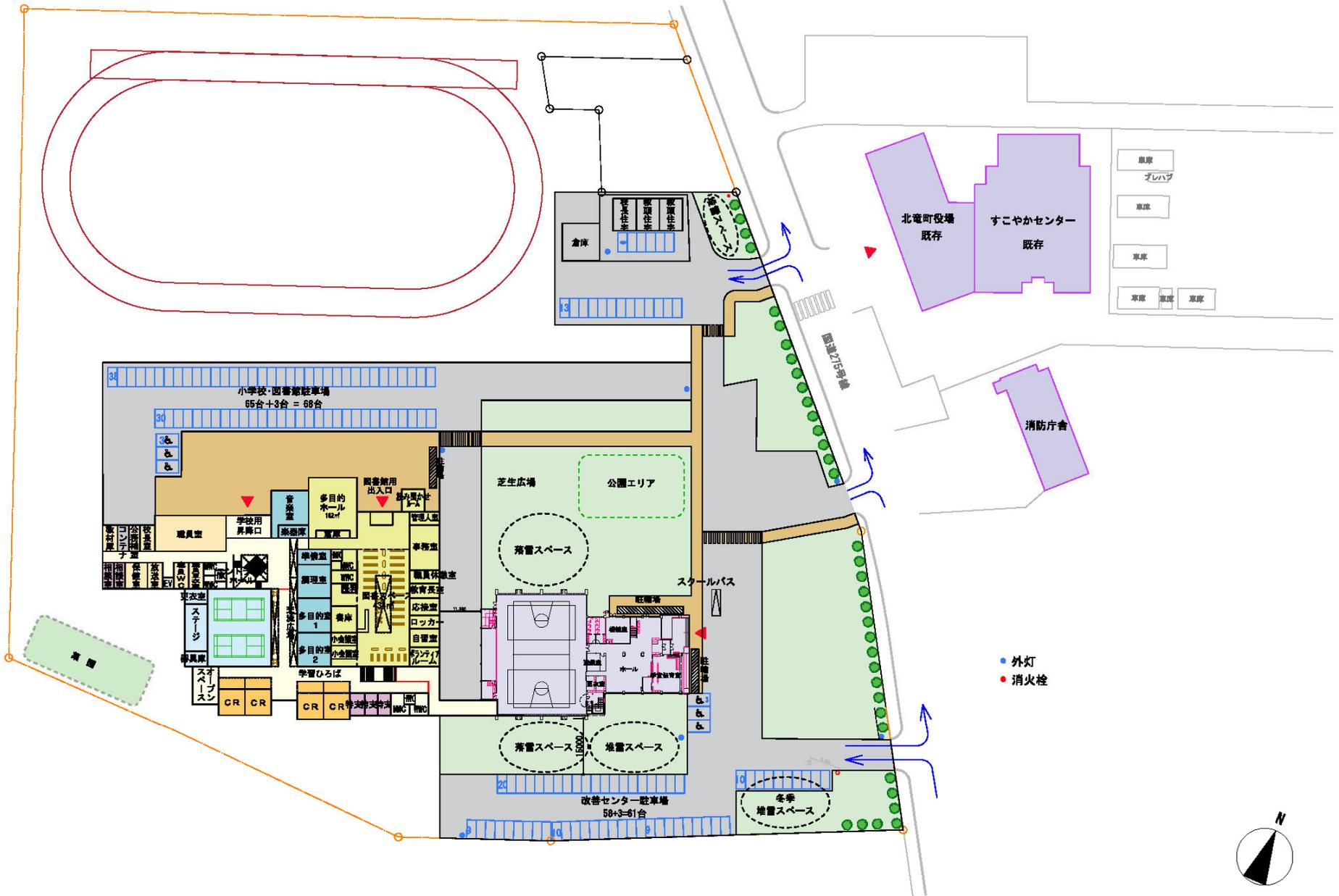
#### ～ 案2の特徴 ～

- ・本の森を窓側に配置できるため、公園エリアとの連続性が生まれるとともに、明るく開放的な図書室を整備できる。
- ・建物を横長に配置することで、義務教育学校内の「ひだまり広場」を広くとることができる。※広場の設置箇所は1か所となる。
- ・サブアリーナと、音楽室が教室からやや離れており、動線が長くなる。

② プランの変更について

下記の案1は、参考案として、11月10日時点の検討案を示したものです。

案1

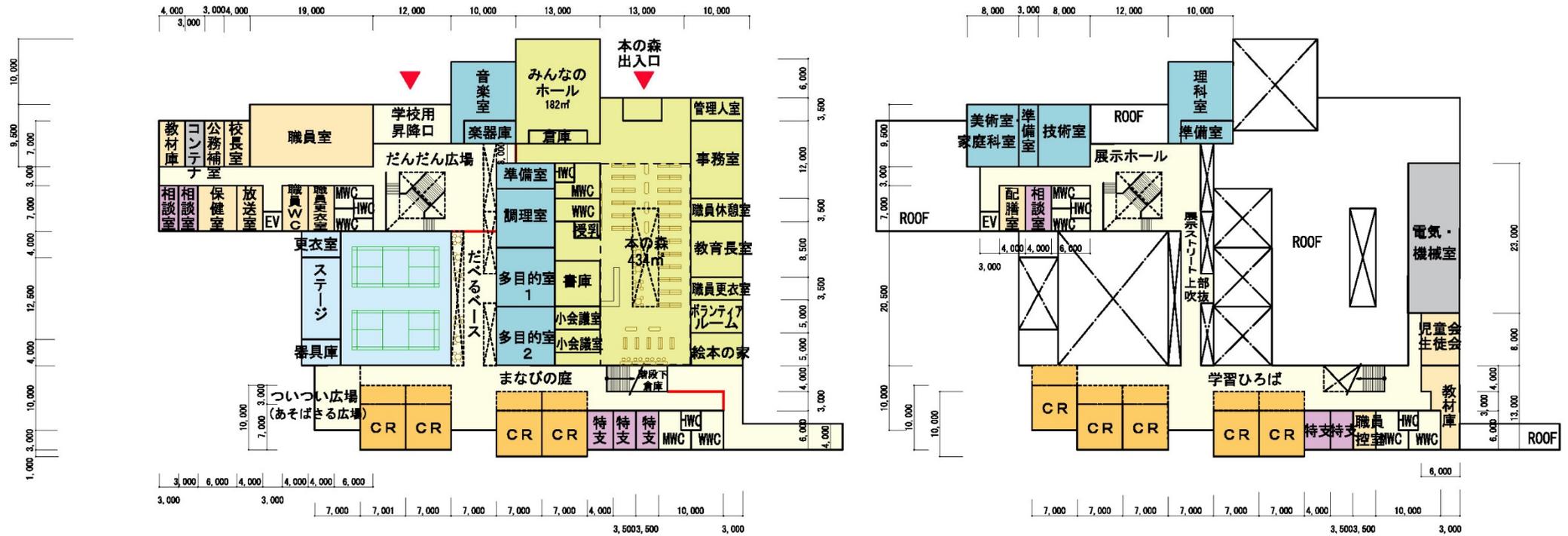


② プランの変更について



案 1 (平面図)

下記の案1は、参考案として、11月10日時点の検討案を示したものです。



— セキュリティライン

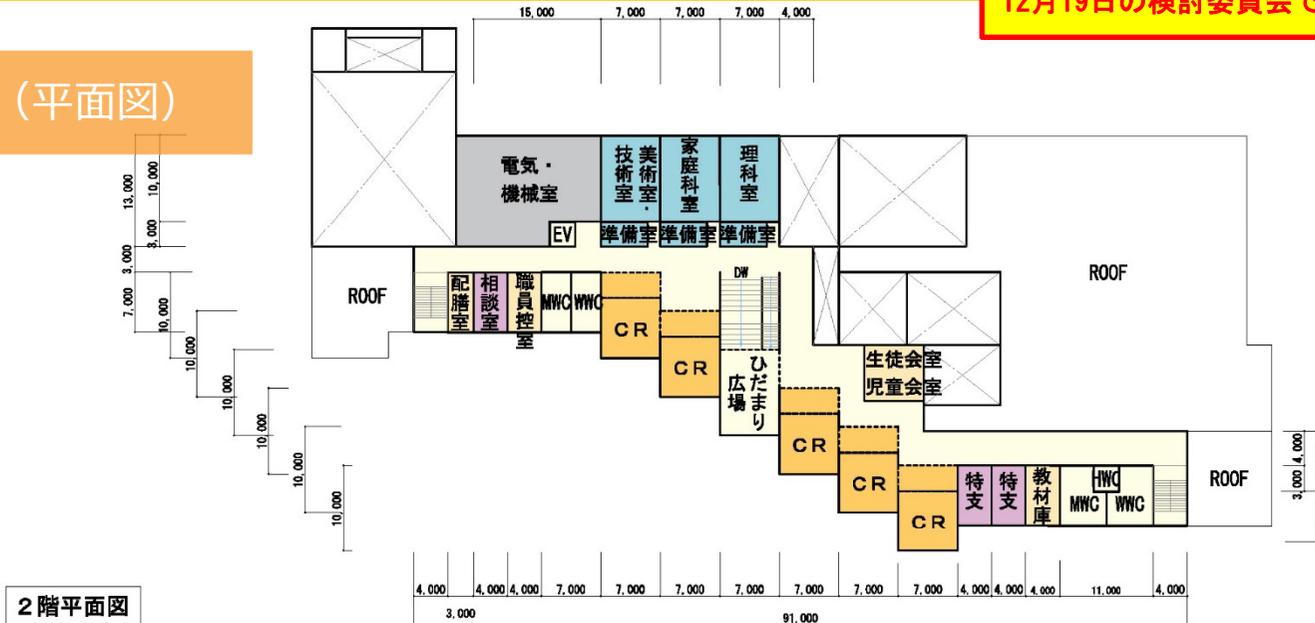
	学校	体育館	図書館	
1階	2,385	472	1,366	4,223
2階	1,855	-	-	1,855
合計	4,240	472	1,366	6,078



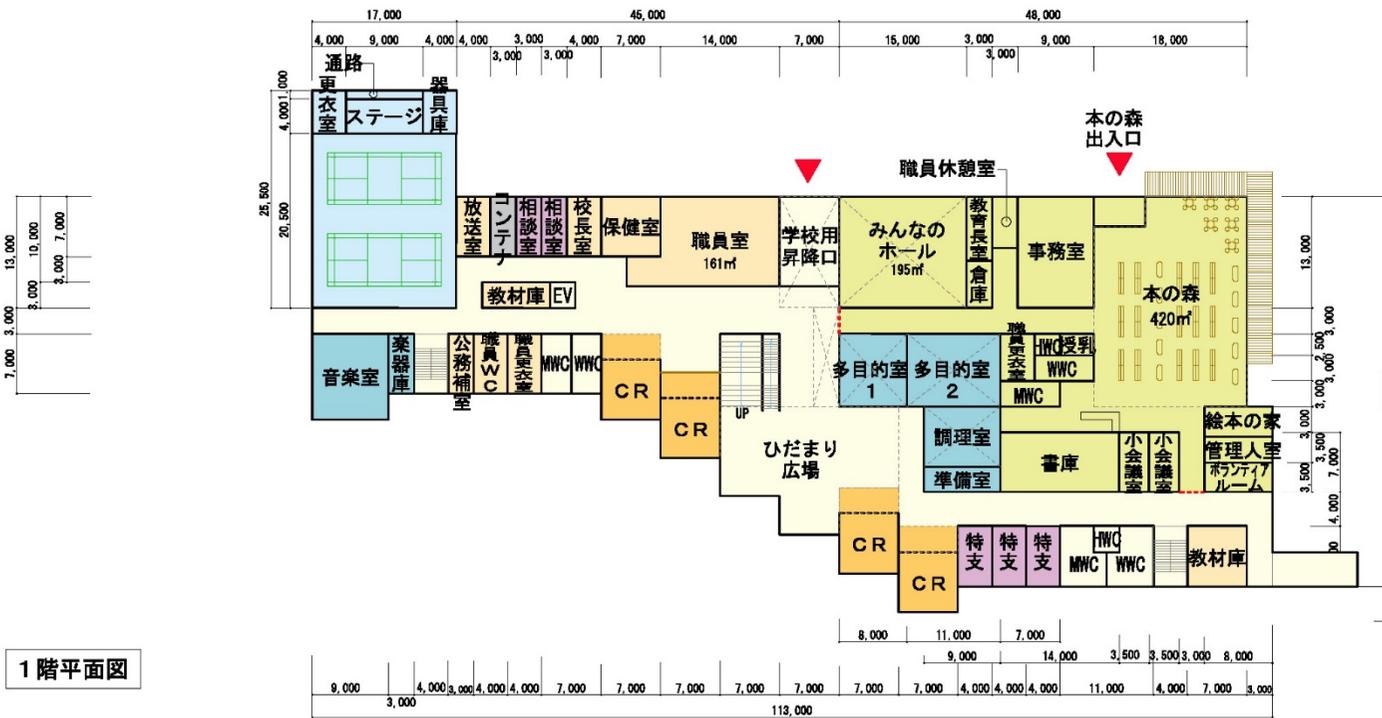
② プランの変更について

下記の案2は、12月9日時点の検討案です。  
12月19日の検討委員会では、最新案（案3）をご提示いたします。

案2 (平面図)



2階平面図



1階平面図

— セキュリティーライン

	学校	体育館	図書館	渡り廊下	
1階	2,428	433	1,334	40	4,235
2階	1,794	-	-	-	1,794
合計	4,222	433	1,334	40	6,029

## ② プランの変更について

### 案3 (配置図)

案3は、只今、検討中であり、12月19日の検討委員会でご提示いたします。

## ② プランの変更について

### 案3 (平面図)

案3は、只今、検討中であり、12月19日の検討委員会でご提示いたします。

## ② プランの変更について

### ■ 整備または利用イメージ

#### ～ 児童の教室（イメージ） ～



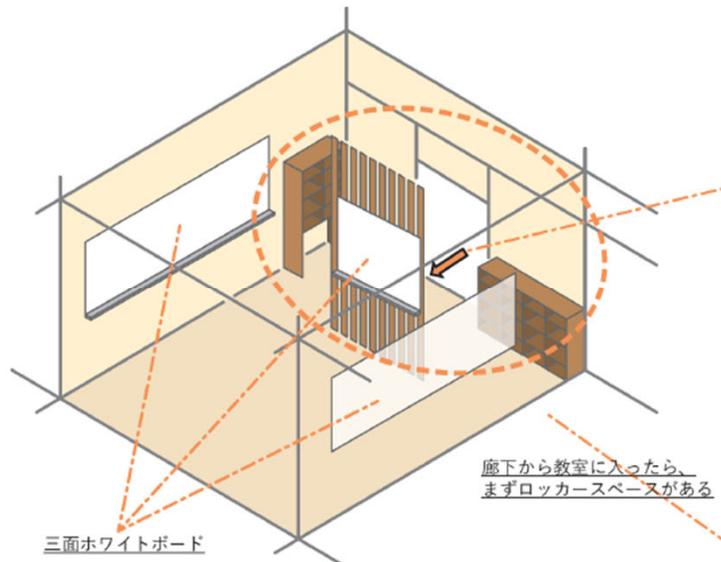
(出典：文科省HP)



(出典：文科省HP)

京都教育大学附属桃山小学校（京都府 京都市 伏見区）

- 児童の教室の壁を、ホワイトボード付きロッカー等の**可動式の壁**とすることで、柔軟な空間を生み出すことができる。



市立田中北小学校（千葉県 柏市）

- 教室には、3面ホワイトボードを想定。ホワイトボードの背面は掲示板として活用できるコルクボードを想定。

## ② プランの変更について

### ～ だんだん広場（案1のみ）（イメージ）～



- 階段の段差とオープンスペースを活用し、校内での発表や授業として利用できる。

▲中学校1年生のコミュニケーション教育授業の参観もしました

町立奈義中学校（岡山県勝田郡奈義町）

### ～ ひだまり広場（案2のみ）（イメージ）～



市立赤平中学校（北海道赤平市）（左：1階、右：2階の様子）

## ② プランの変更について

～ ついつい広場（案1）またはひだまり広場（案2）（イメージ）～



廊下の横のくぼみ部分がベンチになっている



有機的な形状のベンチ



向かい合っておしゃべりができる空間

市立田中北小学校（千葉県柏市）

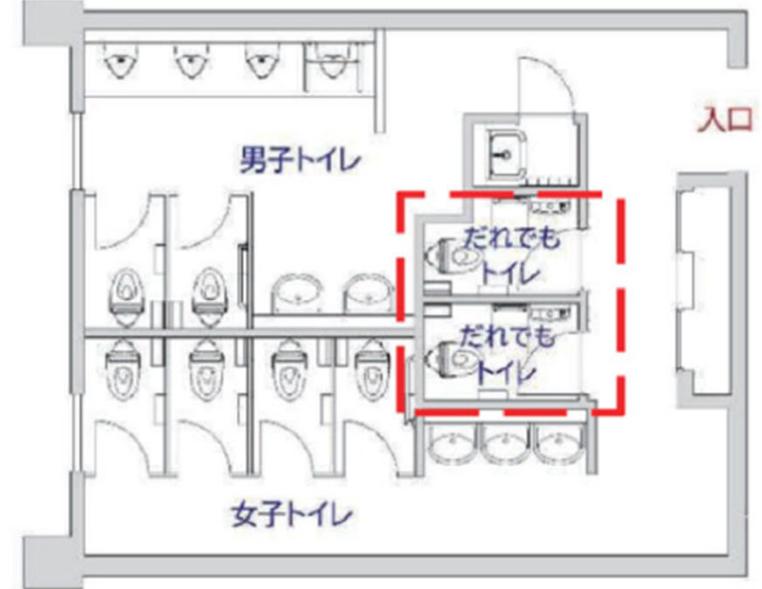
～ 展示ストリート（案1のみ）（イメージ）～



市立想青学園（広島県福山市）

## ② プランの変更について

～ トイレ（イメージ）～



廊下に面した入り口を1つにし、外からどのトイレに入ったかがわからないようにしている

市立香芝東中学校（奈良県香芝市）



トイレエリア前の手洗い場①



トイレエリア前の手洗い場②

市立田中北小学校（千葉県柏市）

## ② プランの変更について

～学びの庭&学習ひろば（案1のみ）（イメージ）～



町立奈義中学校（岡山県勝田郡奈義町）

～ 図書館（イメージ）～



町立早来学園（北海道安平町）

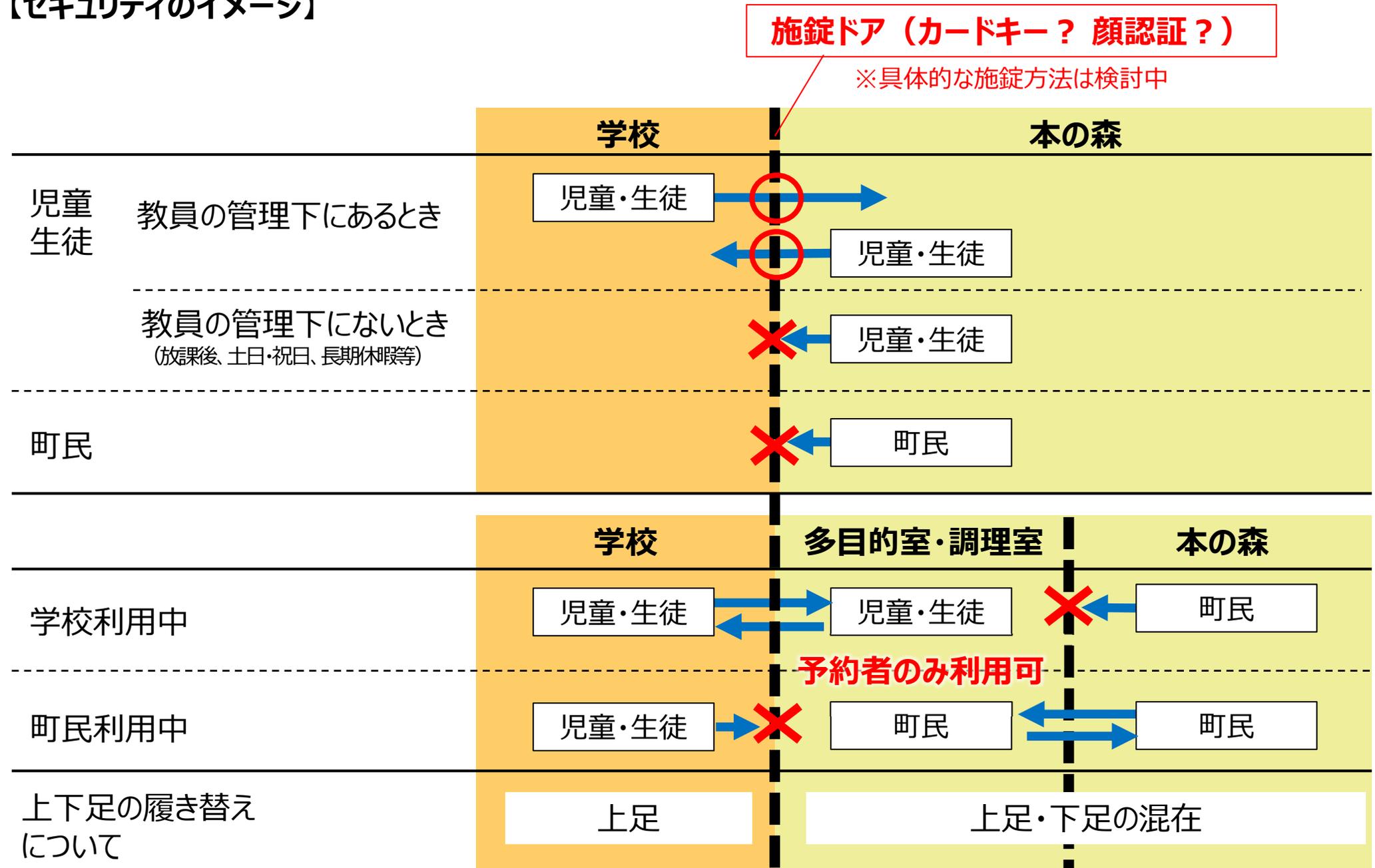


せんとぴゅあⅡ（北海道東川町）



## ② プランの変更について

## 【セキュリティのイメージ】



## ③ 視察の報告について

## ■ 秋田県 五城目町立 五城目小学校

人口 7,814人(R7.1.1)

児童数 223人 (R7.4.1)

学級数 12クラス (うち特別支援学級2クラス)

- ・当時8校あった小学校は2015年に町立五城目小学校だけとなった
- ・令和2年度(2020年度)に新校舎でスタート



水田が広がる町



530年の歴史がある朝市



地図、写真とも五城目町HPより



五城目小学校



運動公園の敷地に建設

### ③ 視察の報告について

#### ■ 秋田県 五城目町立 五城目小学校

##### 学校の特徴

PTAが主体となって始まったワークショップをきっかけに教育委員会が対話の場を数多く主催し、町全体に発信。そこから生まれた**建築コンセプト「越える学校」**を合言葉に**学校づくり**を進め、さらには新しい小学校と周辺エリアを拠点とした**世代を越えた学びの活動へと継承**。

#### 1. 学校教育と社会教育との連携の取組（スクールトークの実践）

- 子どもを中心に据えた教育改革を進め、**閉ざされた教室から開かれた学びへ転換**すること。
- **学校教育と社会教育を連携させ、地域全体で子どもの成長を支える仕組みを構築**する。
  - ・スクールトークは、単なる会議ではなく、学校づくりや教育改革の方向性を決めるための協働的な対話の場。
  - ・学校の方向性を決めるための話し合い学校を新しく作る前に「スクールトーク」を実施し、どんな学びの場にするかを関係者で議論。
  - ・子ども主体の学びを実現するためのアイデア出し「**対面型授業から脱却**」「**子どもが主体的に学ぶ環境づくり**」をテーマに、教員や地域と意見交換。
  - ・**固定された机やロッカーをなくし、自由に学べる空間設計**の提案。
  - ・ICT活用の方向性を共有タブレットやクラウドを使った協働学習、**個別最適化の仕組み**をどう導入するかを話し合う。
  - ・ICTを活用した「**楽しく学べる授業**」や「**子どもの意見を可視化する方法**」を検討。
  - ・**地域と学校の連携を強化**し、コミュニティスクールや地域資源を活かした学びをどう組み込むか。
  - ・教育留学やリモート学習など、学校外での学びを出席扱いにする仕組みを議論。
- 子どもが「**楽しく学び、主体的に関わる**」環境を整え、**学びの質を高めることを目指す**。
  - ・**教室環境の工夫**固定された机やロッカーをなくし、自由に座れる「**フリーアドレス化**」。
  - ・**ワークホールやオープンスペースを活用し、学びの場を広げる**。学びのスタイルの転換、**対面型授業から脱却**し、グループ学習やペア学習を組み合わせる。
  - ・子どもが「**退屈しない**」「**発表の順番が回ってくる**」ように、役割を持たせる。
  - ・コミュニティとの連携地域資源を活かした探究学習や、教育留学（地域での学びを出席扱いにする仕組み）。
  - ・保護者や地域住民が学校運営や学びに関わるコミュニティスクール活動。
  - ・学びの意欲を高める仕掛け子どもが「**楽しい**」と感じる課題設定（例：探究型学習、プロジェクト型学習）。ICTを使った個別最適化と協働学習の両立。）

### ③ 視察の報告について

#### ■ 秋田県 五城目町立 五城目小学校

## 2. 取組内容と設計上の工夫

### ●学習形態の改革

・対面型・一斉授業から脱却し、グループ学習や協働学習を導入。 → 子ども同士が教え合い、発表し合う場を増やす。

### ●学校空間の再設計

・教室だけでなく、廊下や屋外も学びの場にする。 → 多様な学びの空間を設計段階から意識。

### ●地域との協働

・社会教育担当者や地域団体と連携し、0歳から18歳までのライフステージを見据えた支援を展開。 → 保育園・学童・学校をつなぐ仕組みづくり。

### ●情報共有と課題解決

・教育委員会・学校・地域が課題を共有し、役割を分担しながら、全体を調整・連携して進めるコーディネート型の協働を推進。

### ●「子ども中心」の視点を徹底

・黒板の前に教卓を置かず、子どもが学びの中心になる配置に変更。

### ●学びの楽しさを保証する仕掛け

・発表の順番をランダムにするなど、子どもが常に学びに参加できる工夫。

### ●地域資源の活用

・地域の専門家や団体を巻き込み、学校外の学びを充実させる。

### ●設計段階から教育理念を反映

・新校舎の設計に「多様な学びの場」を組み込み、固定化された机やロッカーを排除。

### ③ 視察の報告について



メディアセンター



地域図書室



トイレ内で楽しく  
会話できる  
工夫



奥が普通教室、手前がワークホール（開校前）



ワークホール（現状）



階段教室

## ③ 視察の報告について

## 「五城目みんなの学校」～0歳から100歳以上まで通える学びの場～

夏休み、土曜(図工室):11:00～  
世代をこえて花でつながる  
プチフラワーレッスン 7/26  
[土]

講師 ohana 齊藤澄子さん

五城目小学校 図工室 11:00 ▶ 12:00

対象:誰でもOK、最大20名



大好評企画!アーティストックで奥深いお花の世界。フラワーデザイナーの先生に素敵にお花を飾るコツや植物の特性などを学びながら、ワークショップを体験できる講座です!思い出作り夏休みの工作にもピッタリ!初めての方、親子で、ご友人やご夫婦などなど!世代をこえて是非一緒にお花を楽しみましょう!

夏休み、金曜(家庭科室):11:00～  
ドレッシングをつくって  
サラダを食べよう 8/1  
[金]

講師 ポコポコキッチン 石丸敬将さん

五城目小学校 家庭科室 11:00 ▶ 12:00

対象:誰でもOK、最大30名



ポコポコファーム/キッチンを営みながら、福祿寿酒造での「福々折々ランチ」なども大人気の五城目の料理人・石丸シェフと一緒に、夏にぴったりの冷たいトマトソース「ごまのケツソース」でサラダづくりに挑戦!ゴマの栽培や収穫のお話も聞きながら、子ども包丁を使って、子どもも大人もおいしく楽しく味わいましょう!

水曜(体育館):13:45～  
みんなでポッチャ 9/24  
[水]  
学校連携

講師 教育委員会 生涯学習課

五城目小学校 体育館 13:45 ▶ 14:45

対象:誰でもOK、最大50名



小学4年生では、障害理解に取組んでいます。子どもたちと一緒にパラリンピックの正式種目「ポッチャ」を体験してみましょう!ちょっとした参観日の感覚で、もちろん保護者以外の方も大歓迎です。パラリンピックの正式種目となっているポッチャの戦略性や奥深さを体験してみませんか?

木曜(階段教室):13:45～  
五城目町の  
サステナビリティ 10/2  
[木]

講師 国際教養大学准教授 工藤尚悟さん

五城目小学校 階段教室 13:45 ▶ 14:45

対象:誰でもOK、最大100名



毎年恒例のこの授業!学生になった気分、平日日に学校の教室で大学の先生の講義を受けてみませんか。とはいえ、まったく堅苦しくはありません。テーマは「五城目町」。町が続いていくって、どういこと?持続可能なまちづくりって?など、今年五城目に関する新刊も出版された工藤先生と、楽しく考えてみる!時間です。

金曜(地域図書室):18:30～  
森山と薬草 10/10  
[金]

講師 TABEL(株) 新田理恵さん

地域図書室 わーくる 18:30 ▶ 19:30

対象:誰でもOK、最大50名



森山は、食べ物である山菜も、生活に必要な道具も、病を治してくれる薬草も、私たちに必要なものをなんでも作ってくれました。今回は、民間療法として地域に根付いてきた薬草をテーマに、薬草研究家の新田さんをお迎えし、薬草と秋田のつながりについてお話を伺います。自然とともに生きてきた知恵に、耳をすませてみませんか?

火曜(家庭科室):13:45～  
コーヒー入門 10/21  
[火]

講師 Huddle up Coffee Roasters 宇野弘規さん

五城目小学校 家庭科室 13:45 ▶ 14:45

対象:誰でもOK、最大30名



大阪で長年カフェを営み、今年五城目に新店舗を開業されたカフェ店主によるコーヒー講座。スペシャルティコーヒーなど最新コーヒー事情をお聞きしながら、ご家庭でも楽しめるドリップ抽出のコツを教えてください。試飲つき!香りや風味をじっくり感じながら、日々の一杯をおいしくするヒントを見つけませんか?

日曜(階段教室):15:00～  
第3回五城目オリジナル  
ミュージカル発表会 11/9  
[日]

講師 五城目町ミュージカル部  
アーティスト 辻生喜-Taiki-さん

五城目小学校 階段教室 15:00 ▶ 16:00

対象:誰でもOK、最大100名



感動した!涙がでた!と毎年大好評の、元劇団四季俳優の指導による五城目オリジナルミュージカル。今年もお披露目発表会を開催します。町でミュージカルが観られる貴重な機会、ぜひご観覧ください。出演希望も受付中!歌だけ、ダンスだけ、初心者、子どもから大人までOK。観覧は「みんなの学校」、出演はQRコードから。

火曜(階段教室):13:45～  
五城目で世界一周 11/18  
[火]  
学校連携

講師 ハバタク 丑田俊輔さん

五城目小学校 階段教室 13:45 ▶ 14:45

対象:誰でもOK、最大50名



今年で12年目を迎える小学校総合の授業「ごじょうめで世界一周」。6年生の子どもたちが、英語を使って、各テーマごとに五城目町の魅力をプレゼンテーションします。世界を知ることによって地域を知る——そんな学びの中で育まれた視点から、大人も気づかない五城目のよさを再発見してみませんか?ぜひお聞きください。

#### ④ 今後のスケジュールについて

- 施設整備にあたりZEB等の補助を活用を検討しており、活用の際は工事の着工時期が年度中盤となるため、（仮称）ほくりゅう学園の開校は令和11年度の中盤に後ろ倒しとなる。
- 図書館部分は義務教育学校と一体で整備するため、これまでの段階整備から一括整備へ変更。

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
施設整備	(仮称)ほくりゅう学園		基本設計	実施設計	申請等	建設		(仮称)ほくりゅう学園の開校	
	真竜小学校							移転	解体
	北竜中学校						解体		
	公民館・図書館・郷土資料館						解体		
	農村環境改善センター					改修?		改修?	
	広場・外構							グラウンド・外構	供用
計画策定	学校教育		学校経営計画の策定						
			教育課程の策定		新教育課程の開始				
	学校名の決定		検討スケジュールの検討・決定	学校名の決定					
	学校に関する事項 (校歌・校章・制服・きまり等)		検討スケジュールの検討・決定	学校に関する事項の検討・決定			閉校式	開校式	
	移転計画				移転計画の検討・決定				
	社会教育		施設運営計画の策定						
		第7次社会教育中期計画					第8次社会教育中期計画		